

公表

事業所における自己評価結果

事業所名		公表日			
ハッピー神戸三宮教室		2025年10月1日			
	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点
環境・体制整備	1 利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	8	1	・大小合わせて支援室が3部屋あり、支援内容によって支援室を選択している。 ・必要のない物を使用する部屋に置かないことで、運動出来るスペースを確保している。 ・イベント等で多人数の利用の時は、2～3部屋に分散して利用している。	大きめの教材の置き場が少ない。
	2 利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	7	2	・様々な資格、専門性を持った指導員が配置されている。	
	3 生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	8	1	・視覚情報を取り入れ、場所や導線など分かりやすい工夫ができています。 ・角にクッションを貼る、扉の開閉時指を挟まないようガードを付けるなど、安全のための工夫を行っている。 ・視覚補助を用いて、理解しやすいように工夫している。	
	4 生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	7	2	・生活空間・教材など日々の清掃と消毒を行い対応できている。共有スペースにおいてもコーナガードを付けるなど危険回避に繋がるような対応をしている。 ・常に部屋やトイレなど利用者が心地よく過ごせるように心掛けている。	・教室の狭さから荷物が入らないものもあるため、見栄えが悪い箇所がある。
	5 必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	8	1	・お子様に合わせて教室設定ができています。 ・制限エリアなどは、視覚提示を行うなど対応している。	
業務改善	6 業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか。	8	1	・朝終礼にて進捗状況を共有している。 ・個別支援計画に沿って支援し、利用の都度記録を残し振り返っている。	
	7 保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	8	1	・評価表とともにフィードバック時に要望を聞くことができている。 ・保護者さま向け評価表の意見の確認を行い、業務改善に向けて話し合いの場を設けている。	
	8 職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	8	1	・職員会議を定期開催し意見することができる場を設定している。	
	9 第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	8	1	内部監査の実施にて、運営の見直しや業務改善につなげていきたい。	第三者による外部評価は実施していない。
	10 職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	8	1	・全職員が各種研修に参加できる機会があり、教室内でも勉強会のような情報共有の場を設定している。	
	11 適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	9		・保護者さまの希望に沿った支援を提供できている、定期的に支援方針のすり合わせもできている。 ・支援計画に基づいてプログラム作成されており、実施したプログラムは職員間で閲覧できる。	
	12 個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成しているか。	9		・約30分アセスメントの時間を確保し、保護者さまの希望を聞き取り支援計画に反映している。 ・話しやすい環境設定の工夫を行っている。	
	13 児童発達支援計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	8	1	・保護者さまの希望に沿った計画書を作成している。 ・個別支援計画書作成の際には検討会を開催し、定期的なケース会議やモニタリングを行うことで共通理解としている。	
	14 児童発達支援計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	9		・個別ファイルで保管し、いつでも確認できるようにしている。 ・支援の前には必ず、個人ファイルに収納されている最新の個別支援計画書を確認している。	
	15 こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	9		・支援時にも記録を振り返ることや担当職員に聞くことで、お子さまの様子の情報共有を行っている。 ・毎支援後にケース記録を記し、社内で統一されたツールを用いてアセスメントを行っている。	

適切な支援の提供	16	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	9		<ul style="list-style-type: none"> ・保護者さまの希望に応じ、面談・関係機関との連携ができている。 ・連携内容を踏まえて支援内容を設定しているとともに、教室外の情報なども加味して支援提供している。 	
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	9		<ul style="list-style-type: none"> ・職員同士で意見を出し合うことができている。 ・共有/話し合いを行いながら立案している。 	
	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	9		<ul style="list-style-type: none"> ・お子さまが飽きないような支援を提供できている。 ・過去の記録を参照し、提示するプログラムを工夫している。 	
	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせることで児童発達支援計画を作成し、支援が行われているか。	9		<ul style="list-style-type: none"> ・保護者さまの希望に応じて集団の案内、イベントの案内を行い、集団活動にも参加いただいている。 ・見学時など契約前から個別/集団併用の説明を行い、それに沿った計画を立案している。 ・全員が個別と集団を組み合わせるのではなく、保護者の方の希望により、個別支援のみ集団のみの方がある。 	
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	9		<ul style="list-style-type: none"> ・リスク管理や想定内容を考え対応している。 ・朝礼で確認し、集団支援時は支援担当者同士で詳細に相談し合っている。 	
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	9		<ul style="list-style-type: none"> ・終礼時に支援の共有と利用者さまの様子の共有を行っている。 ・終礼でその日の利用者さま全員の支援共有を行い、当日勤務ではない職員にも共有できるように記録に残している。 	
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	9		<ul style="list-style-type: none"> ・記録として詳細を残すとともにケース会議を別途開催するなど改善に繋げている。 ・利用者さま全員の記録を残しており、職員全員が見られるようにしている。 	
関係機関や保護者との連携	23	定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	9		<ul style="list-style-type: none"> ・半年に1回、必ずモニタリングを行っている。保護者さまの希望に合わせてお子さまの様子についても面談も行っている。 ・モニタリング実施と外部連携を行うなどして見直しを行っている。 	
	24	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	8	1	<ul style="list-style-type: none"> ・保護者さまの希望に応じ、関係機関連携を行い、関係者と会議を行っている。 ・管理者/児発管が参画している。 	
	25	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	9		<ul style="list-style-type: none"> ・保護者さまの希望に応じて、通園先や相談機関、行政担当者、主治医などと連携し情報共有している。 	
	26	併行利用や移行に向けた支援を行うなど、インクルージョン推進の観点から支援を行っているか。また、その際、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚園部)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	9		<ul style="list-style-type: none"> ・小学校との連携に加え、保護者さまに必要な情報を提供できている。 ・利用状況報告書、引継ぎシートなどの書式を使用し情報共有している。 	
	27	就学時の移行の際には、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	8	1	<ul style="list-style-type: none"> ・保護者さまの希望に応じて、就学引継ぎシートを作成し、情報共有している。 	
	28	(28～30は、センターのみ回答)				
		地域の他の児童発達支援センターや障害児通所支援事業所等と連携を図り、地域全体の質の向上に資する取組等を行っているか。				
	29	質の向上を図るため、積極的に専門家や専門機関等から助言を受けたり、職員を外部研修に参加させているか。				
	30	(自立支援)協議会こども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加しているか。				
	31	(31は、事業所のみ回答)	6	3	<ul style="list-style-type: none"> ・モニタリング会議やこども部会などの外部研修に参加することで専門機関などから助言を受けている。 	
		地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要に応じてスーパーバイズや助言等を受ける機会を設けているか。				
	32	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、地域の中で他のこどもと活動する機会があるか。	3	6		<ul style="list-style-type: none"> ・園連携として情報交換は行いが、交流はない。
	33	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	9		<ul style="list-style-type: none"> ・支援の振り返り(フィードバック)や家族支援面談の場で状況を共有し、共通理解に努めている。 	

	34	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム（ペアレント・トレーニング等）や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	9		・オンライン家族支援などの提案を行い参加をご案内している。 ・就学に向けてのイベント（就学説明会や放デイ説明会）を行っている。	
保 護 者 へ の 説 明 等	35	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	9		・契約時に説明し、事業所内に掲示している。	
	36	児童発達支援計画を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	9		・面談形式で意向を確認する場を設定している。	
	37	「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ているか。	9		・アセスメントにて聞き取った内容をもとに家族の意向に配慮した計画を作成し、説明を行うことで同意を得ている。	
	38	定期的に、家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	9		・家族支援の時間を設けたり支援に参加していた時（子育てサポート）に、お話を伺い助言している。	
	39	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。	7	2	・イベントや家族支援を開催することで保護者さま間の交流をご案内している。 ・保護者座談会や保護者交流会を催している。	
	40	こどもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	9		・保護者さまの希望の聞き取りを面談/オンラインのどちらでも対応している。	
	41	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。	9		・定期的にブログを発信している。 ・行事予定などアプリを使用して周知(発信)いる。	
	42	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	9		・施錠管理をするとともに、個人情報使用同意書を取り交わして対応している。	
	43	障害のあるこどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	8	1	・書面などを準備し活用することでより理解しやすいような配慮を行っている。 ・外国籍の保護者さまに関してはより丁寧に説明を行っている。	
非 常 時 等 の 対 応	44	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	4	5	・誰もが教室の様子を確認することができる情報提供をブログ/SNSなどで発信している。	
	45	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	9		・法的に定められた頻度などルールに基づいて訓練を実施し、マニュアルについては、モニタースペースの本棚に格納している。	
	46	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	9		・BCP策定を行うとともに法的ルールに則って訓練を実施している。	
	47	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか。	9		・契約利用前に情報を入手し書面管理することで確認している。	
	48	食物アレルギーのあるこどもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	9		・契約時にアレルギーの有無について確認している。基本、持参される飲み物以外でハッピーでの飲食の機会はない。	
	49	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	9		・職員間で安全管理について共有し、利用者に対しても契約時に説明を行っている。	
	50	こどもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	8	1	・契約時など書面をもって周知している。	
	51	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	9		・発生時には振り返りを行い、再発防止に繋がるよう対応策についても共有している。	
	52	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	9		・研修への参加とチェックリストの作成にて見直しや振り返りができるようにしている。	
	53	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、こどもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載しているか。	9		・計画書への記載はないが、契約時に説明を行っている。	